

チリメンモンスターを通して学ぶ、身近な海「大阪湾」

「チリメンモンスター」って何だ？

私たちの身近な食材である「ちりめんじゃこ」を食べるときに、小さなエビやカニ、タコが入っているのを見つけたことはありませんか？

ちりめんじゃこの原料になっているのは、カタクチイワシと呼ばれるイワシの仲間の稚魚（子ども）です。このイワシの子どもを漁獲する際、ほかの魚やエビやカニの幼生などいろいろな生き物が混じるのですが、それらを総称し「チリメンモンスター（略称：チリモン）」と呼んでいます。チリモンは、すべて近くの海でとれた本物の生き物です。見つかる種類もさまざまで、私たちの食卓にものぼるおなじみの生き物から、図鑑でしか見ることができない珍しい生き物まで多岐にわたっており、これまで確実に名前がわかっているものだけでも優に100種を超えています。



ちりめんじゃこに混じる色々なモンスターたち

海を身近に感じてもらう 出前授業を紹介します

東葛城幼稚園の園児を対象に実施しているプログラムをご紹介します。山手に位置する東葛城幼稚園に通う子どもたちは海にふれ合う機会がほとんどありません。そこで、幼稚園周辺の自然観察から始まり、近隣を流れる川や海の生き物、ひいては漁業や食など自分たちが住んでいる場所と大阪湾のつながりを体感できるプログラムを連続講座として毎月1回実施しています。特にちりめんじゃこは、日常的に食べている食材なので、触ることへの抵抗感も少なく、生き物を実際に観察する前の導入に適しています。



東葛城幼稚園児が顕微鏡を観察する様子

チリモン実習の詳細はこちら↓



「チリモン」を探してみよう！

ぎしわだ自然資料館では、ちりめんじゃこからチリモンを探し出す取り組みを、身近な海の生き物の多様性や環境、食生活などについて学ぶ体験型学習プログラムとして、2004年からぎしわだ自然友の会といっしょに行っています。主な対象は幼稚園や小学校の園児・児童で、学校を訪れて出前授業を行っているほか、自然資料館でも一般向けイベントとして毎月1回のペースで実施しています。また、不定期で市内の公民館や図書館でも実施することがあります。



公民館で実施したチリモン実習と海の生き物観察

実習に必要な道具を貸し出します♪

チリモン実習は子どもたちを遊び感覚で学びにつなげ、海の生き物とその多様性に関心を持つきっかけを提供するすぐれたツールです。また、食材であるというちりめんじゃこの特性により、理科、国語科、社会科、生活科、家庭科などの科目と関連づけた横断的、総合的な学習が可能です。

この取り組みを学校の授業などさまざまな場面でもっと活用してもらえよう、チリモン実習に必要な道具などをまとめた貸し出しキット、大阪湾の生き物、漁業について学べる模型や映像資料などの貸し出し教材を作成しました。興味のある方は自然資料館（TEL 423-8100）までお問い合わせください。



実習用貸し出しキット



カタクチイワシの成長を学ぶ教材

地域で子どもを守ろう！！

こども110番運動／子どもの安全見まもり隊

こども110番運動って？

子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになった時、助けを求めてかけ込むことができるように、地域の協力家庭、商店・事業所等が「こども110番の家」の旗等を掲げています。子どもを保護することにより、子どもたちを犯罪から守り、被害を最小限に止めようとする運動です。



目印のタペストリーと旗

子どもの安全見まもり隊って？

登下校時における子どもたちの安心・安全を確保するため、各小学校のPTAや地域の方々のご協力のもと、通学路や遊び場、大人の目が届きにくい危険な場所などで行う見守り活動です。子どもの安全確保はもちろんのこと、子どもたちには「見守られている」という安心感が生まれます。



※ 協力していただける方は、生涯学習課（〒596-0072 堺町1-1 TEL423-9616）または各小学校までお問合せください。